

## 第 124 回 ITER 機構職員募集説明会での Q&A

### 1. 日時・場所

令和元年 12 月 19 日（木）

東京大学 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール（ITER/BA 成果報告会 2019）

### 2. 来訪者 100 名程度

### 3. 説明概要

ITER/BA 成果報告会 2019 において、ITER 計画に関するポスター、ITER 模型の展示、パンフレット等の配布を行い、ITER 計画の概要、ITER 国内機関として機器の製作状況及び調達活動、ITER 機構職員数の現状、ITER 機構職員公募に関して説明を行った。また、建設中の ITER サイトの様子を見ることができる VR 体験コーナーを設けた。

（ITER 計画管理グループ 齋藤、ITER 人材・広報戦略グループ 會澤、坂野）

### 4. 主な Q&A

Q: 日本から ITER 機構のインターンシップに参加している学生はどのくらいいますか？また、期間についても教えてください。

A: 2018 年は 5 名、2019 年は 6 名の大学生・大学院生が参加しました。ITER 機構のインターンシップは理工系だけでなく事務系の公募もあり、それぞれ参加者がいます。期間については個人差があり、3~6 か月で参加する学生が多いようです。なお、2020 年の公募はすでに開始されていますので、ぜひご検討ください。

また、若手研究者にはモナコ公国/ITER ポスドクフェローシップの公募があります。ポスドクフェローシップは 2 年に 1 回公募しており、2020 年 1 月 13 日より新たな公募が開始されました。

各公募の詳細については、ITER Japan ウェブサイトをご覧ください。

ITER 機構インターンシップのご案内：

[http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/staff/internship\\_program.html](http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/staff/internship_program.html)

モナコ公国/ITER ポスドクフェローシップの公募のご案内：

<http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/staff/PostDoc.html>

カテゴリー	対象	年間募集人数	実施期間※	手当（月）
S	博士課程、 研究職員など	15 名	1 か月～4 年以内	個別に対応
A	修士課程の学生	15 名	4～6 か月 (1 年まで延長可)	1300 ユーロ (5 か月未満は 650 ユーロ)
B	大学学部生以上	15 名	3 か月以内 (1 年まで延長可)	650 ユーロ
C	高校生	20 名	4 週間以内 (Job shadowing)	手当なし

※全てのカテゴリーにおいて、実施期間は個別対応可能

### ITER 機構インターンシップの対象と期間

Q: ITER 建設サイトの VR は展示ブース以外でも観られますか？

A: ITER 機構ウェブサイト内の「NEW ITER VR TOUR」でご覧いただけます。また、ウェブサイトには、サイトの写真や動画もアップロードされていますので、ぜひご覧ください。

NEW ITER VR TOUR : <https://static.iter.org/com/360/calendar/2019-10/>

Q: ITER の核融合燃焼時間はどのくらいですか？

A: ITER では、入力エネルギーの 10 倍以上の出力エネルギーを 400 秒程度維持することを目標としています。

## 5. 展示会の様子

